令和5年度第9回八千代市農業イノベーション計画協議会 概要

日 時 令和6年1月23日(火) 午後2時~午後3時12分まで

場 所 やちよ農業交流センター みんなのレストラン飲食スペース

出席者 八千代市農業イノベーション計画協議会

◆ 出席者:12名

加藤会長(経済環境部長),山﨑委員,櫻井(博)委員,長岡委員,植草 委員,小塚委員,嶋村委員,周郷委員,鈴木委員,土屋委員,髙橋オブザ ーバー,岩﨑オブザーバー(代理:高橋氏)

- ◆ 欠席者: 4名 岩井委員, 櫻井(清)委員, 三宅委員, 白井委員
- ◆ 事務局

(農政課)

周郷主幹, 高橋副主幹, 猿田主査補, 小川主査補, 小嶋主事

- 議 題 (1) 道の駅やちよ周辺地区活性化計画について
 - (2) 工事期間中の対応について
 - (3) 運営方針について
 - (4) その他

会議概要

議 題1 道の駅やちよ周辺地区活性化計画について

(1) 説明

- 6月の第3回会議において了承頂いた『道の駅やちよ周辺地区活性化計画』について、 7月から8月のパブリックコメントを経て、農林水産省に提出するまでの間に複数回 農林水産省関東地方整備局による事前確認を行っている。
- 農林水産省関東地方整備局の事前確認を経て変更した箇所について説明。

<変更点>

- 1 活性化計画:目標
 - 3つの目標の順番を変更
 - ① レジ通過者数

変更前は、交流人口の拡大として、各種講座の参加者数の増加を目標としていたが、レジ通過者数を含めて良いとの関東農政局からの指示により、目標を変更。

- ② 目標売上の増額
- ③ 新たな商品開発数の変更

(変更前) 3年間で3件

(変更後)年間3件(3年間で計9件)

2 活性化計画:今後の展開方向等

宿泊体験活動や交流人口との記載内容をグリーンツーリズムの文言に変更。文 言の修正のみで内容は同じである。

3 活性化計画:活性化計画区域

(変更前)米本・神野 ※米本団地を除く。

(変更後)島田・米本・神野 ※米本団地を除く。

4 実施計画:事業活用活性化計画目標

活性化計画に合わせて目標の変更

(変更前)農林水産物等の販売・加工促進、農観連携・グリーンツーリズムの促進 (変更後)農観連携・グリーンツーリズムの促進

5 実施計画評価指標:第1評価指標,第2評価指標

(変更前) 第1:地域産物の販売額の増加, 第2:交流人口の増加

(変更後) 第1:交流人口の増加, 第2:地域産物の販売額の増加

販売額だけでなく交流人口の増加を目指すため、第1評価指標と第2評価指標の順番を変更

6 実施計画:活性化計画の目標及び事業活用活性化計画目標と交付対象事業の関連性

(変更前)全体事業費:1,589,200千円

(変更後) 全体事業費:1,603,833千円

基本設計完了後, 改めて実施設計経費の積算を実施。それに伴う経費の増額分を計上。

(2) 質問・意見等 特になし

(3) まとめ

今後,1月下旬から2月にかけて,農林水産省に同計画を提出し,市ホームページに 公開する予定としている。

議 題2 工事期間中の対応について

(1) 説明

既存ふるさとステーション各店舗とやちよ農業交流センター移転後の売り場面積の比較、及び駐車場台数等を基に仮設店舗の面積について説明。

<主な説明内容>

- ・ 既存ふるさとステーション店舗面積とやちよ農業交流センター移転後に想定される売り場面積について、店舗ごとに比較し、売り場面積の確保率を説明。
- ・ 千葉国道事務所による一般国道 1 6 号線からのアクセス道路及び駐車場の整備が 遅延していることを踏まえ、やちよ農業交流センター芝生広場に整備予定の仮設店 舗面積について説明。

(2) 質問·意見等

- ・ 移転後のやちよ農業交流センターにおける直売スペースについて,運営事業者で調整 して,仕入れ品ではなく農家が生産した農作物を販売するスペースを確保して欲しい。
- ・ 直売スペースについて、やちよ農業交流センターの研修室と仮設店舗に分かれるため、 研修室の方に冷蔵庫や冷凍庫を設置し、仮設店舗の部分が農作物の販売スペースにな ると想定している。
- 仮設店舗の面積について、事務所やバックヤードも含めた面積なのか。
- ・ 直売スペースについて、仕入れ品の数量を減らしていけば、農家が生産した農作物分 の売り場は減ってしまうが確保できるのではないか。

また、仕入れ品がなければ、バックヤードは必要にならないのではないか。

・ 晴天時は、ふれあいモール等も使用できるのではないか。場合によっては、イベント の様に見えるため、外で販売した方が売れるかもしれない。

- ・ 既存, 直売スペースについて, 季節によって販売スペースが変更になる。
- ・ 販売スペースに置けない野菜をストックするスペースはあるのか。今は、通路に置く ルールになっている。
- ・ 仮設店舗について、整備してみて面積が足りない場合は、テントを張って対応する等、 工夫をすればいい。

(3) まとめ

仮設店舗の面積については、今回事務局が説明した250㎡は確保する方向とした。 なお、やちよ農業交流センターへの移転に係る各店舗の配置等については、来年度改め て検討することとした。

議 題3 運営方針について

(1) 説明

第7回及び第8回に引続き『道の駅やちよ・八千代ふるさとステーションのリニューアルによる「さらなる賑わいの創出」等を図るための運営方針(案)』について説明。

<主な説明内容>

さらなる賑わいの創出を図るためのイベントや見栄えのする商品の開発等について, 他団体道の駅の事例を基に説明し、委員会らの意見を求めた。

(2) 質問·意見等

- ・ 他自治体の道の駅で販売しているフルーツカップについて、以前、直売所でぶどうを 入れて販売していたが、土地柄なのか思ったほど売れ行きは良くなかった。新川桜祭り 等で販売すれば売れるかもしれない。
- 高級なかき氷が売れているので、販売してみたらどうか。
- ・ ジェラートについて、材料費の高騰の影響を受け、現在の価格で販売している。 安価で販売する一方で高級志向もあることから、以前、1個1、000円のジェラートの販売を検討したことがあった。

現実的に観光地であれば売れる可能性があるのではないか。観光に頑張ってもらって観光客がくれば、1 個 1 、0 0 0 円の高級ジェラートも売れるのではないか。その場合、1 つの目玉になると思う。

・ 道の駅自体が特別な場所 (ハレの場所) にならない限り高価格帯の商品が売れないのではないか。

現在は、地域のスーパー的な役割になっており、日常利用として良い役割になっている。日常利用の方、観光利用の方、両方のお客様のニーズを満たすものを。高級な商品や土産ものばかりだと、現在の日常利用してくださるお客様は不満になる。

しかしながら、現状だと若い人が観光に来ると不満に感じてしまう。 どちらの方向に

市は舵を切るのか。

- ・ 道の駅をテーマパーク化していかないと高価格帯商品は売れないし、一般の農家 が生産している野菜や米等の販売価格も値上げすることができないのではないか。
- ・ グリーンツーリズムとして観光農園的なものを市が押し出していくのか。観光スポットとして道の駅を市が押し出していくのか。
- ・ (ジェラートにいちごを1個のせるとの意見に対して)ジェラートは,加工品になる ので,衛生面でのハードルが高い。本当は,トッピングとしてのせればいいが,店舗 として販売しているので,衛生面で指摘されると困る。

(3) まとめ

第7回,第8回及び今回(第9回)で頂戴した意見について,まとめて『道の駅やちよ・ 八千代ふるさとステーションのリニューアルによる「さらなる賑わいの創出」等を図るための運営方針(案)』に反映させることとされた。

また、次期指定管理者の募集に当たり、公表する予定としている。

議 題4 その他

現在,他部署(危機管理課),他組織(千葉国道事務所)が取組中の防災倉庫,防災トイレ,及びアクセス強化(一般国道16号からのアクセス道路)について報告。

また、次年度の予定等について説明。

(1) 防災倉庫

- 危機管理課による整備。
- ・ 令和5年度中に完了予定。
- ・ ふるさとステーションリニューアル後は、防災道の駅として発電機が整備される。 それまでの期間として、防災倉庫に移動式の発電機が格納されることになっている。

(2) 防災トイレ

- ・ 千葉国道事務所(東京国道事務所)による整備。
- ・ 便器の基数が、小便器5基、洋式大便器22基(男女合わせて)増加する。
- 排水方法を切り替えることで、災害発生時においても使用することが可能となる。

(3) アクセス強化

- ・ 千葉国道事務所による整備。
- ・ 令和5年9月1日に島田地区住民を対象にした説明会を実施。
- 市としても土地の地権者に対し説明を行っている。
- ・ 千葉国道事務所も引続き地権者等と協議を重ねていく。

(4) 今後の予定及び次回会議予定について説明

- ・ 道の駅やちよ (八千代ふるさとステーション・やちよ農業交流センター) について、 今後、各設置管理条例改正を行い施設の設置目的に「賑わいの創出、防災機能強化等」 を追加する予定としている。
- ・ 設置管理条例を改正した後,次年度,次期指定管理者の選定に係る公募を実施する予定としている。
- ・ 令和6年度は、ふるさとステーションリニューアルに係る実施設計を行う。
- ・ 来年度の会議について、開催日時は未定ではあるが、引続きリニューアル後の運営や 移転等を協議する予定としている。

以上